



## 実りの秋へ， 前期後半スタート



連日の熱中症警戒アラート，突然の南海トラフ地震臨時情報〔巨大地震注意〕，台風10号の迷走，自然の驚異を実感した夏休みが明け，前期後半始業の日を迎えました。保護者や地域のみなさんのご協力で，プールサーキットやサマースクールを行うことができ，本校ならではの夏休みとなったことに感謝しています。本日から，市教育委員会の施策『ゆったりリスタート』のもと，市内全校で15時下校を中心に，長期休み明け支援の学校生活を再開します。本校でも，児童の学校生活リズムの取り返しを大切に，創立150周年を記念する諸行事等を一人ひとりの成長の場として，成長支援に励みます。特に9月は，前期のまとめ期です。個人懇談でご家庭と共有させていただいた成長課題へのアプローチを進めてまいります。本日の集会でのお話を紹介します。

44日間の夏休みは，良い休みでしたか。私は，今日，みなさんの元気な顔がそろったのを見て，良い夏休みになったなとうれしく感じています。

さて，夏休みに，常識，あたりまえだと思っていたことがひっくり返るお話を聞きました。なんと三つもありました。紹介します。



一つめ，体操服のシャツをズボンに入れない，いわゆる**シャツをインしない良さ**です。これは，群馬県前橋市の理科の先生が，シャツをインしないと体温が4℃下がることを実験して，科学教育全国研究大会で発表されています。これまで，安全面や生活指導の基本として「裾入れ（シャツイン）」を指導してきましたが，気象庁が「災害」と指摘するほどの猛暑の中では、「命を守る」ための一つの選択肢として臨機応変に考えなくてはなりません。

二つめ，南海トラフ地震臨時情報〔巨大地震注意〕に関して，アラーム訓練等で私たちが行う**防災のポーズ**についてです。アラームが鳴ったらみなさんはどうしますか？「ダンゴムシ」のポーズをします。これだけでは命は守れないのだそうです。場面がいろいろと違うからです。「サル」のポーズや「カエル」のポーズなど，場面に応じて使い分けることが大切です。

三つめ，子どもの**睡眠時間**です。学校では8時間をめどに指導していますが，理想は，なんと9～12時間だそうです。たっぷり眠るために，早起き，朝ご飯，日光をあびる，スクリーンタイム（テレビを見る，ゲームをする，ネット動画を見る等の時間）を少なくする，暗くして眠るなどを，一度ふり返ってみましょう。

最後に，前期後半から後期へ，夏から秋へと，暑すぎず寒すぎない，いろいろなことに取り組むには絶好の季節を迎えます。学校生活も大きな行事の連続です。特に今年，福井小学校は創立150周年です。みなさんで作ったキャッチフレーズ

『先人の思いをつないだ150年，笑顔と感謝の福井っ子，新しいことにトライトライトライ！』を胸に，それぞれの行事をはじめ，日々の授業で自分のよさを出し合い，成長のチャンスにしていきましょう。「**DO it NOW!!!**」です。

